

## 第2章 調査研究結果の概要

### 青少年調査結果①

◇ 幼少期から中学生期までの体験が多い高校生ほど、思いやり、やる気、人間関係能力等の資質・能力が高い。

【青少年調査(高2結果)】

高校2年生の結果を用いクロス集計を行ったところ、幼少期から中学生期までに「動植物とのかかわり」、「地域活動」、「家事手伝い」等の体験が豊富な高校生ほど、「友だちがとても幸せな体験をしたことを知ったら、私までうれしくなる」といった「共生感」、「経験したことの無いことには何でもチャレンジしてみたい」といった「意欲・関心」、「けんかをした友だちを仲直りさせることができる」といった「人間関係能力」が高い。

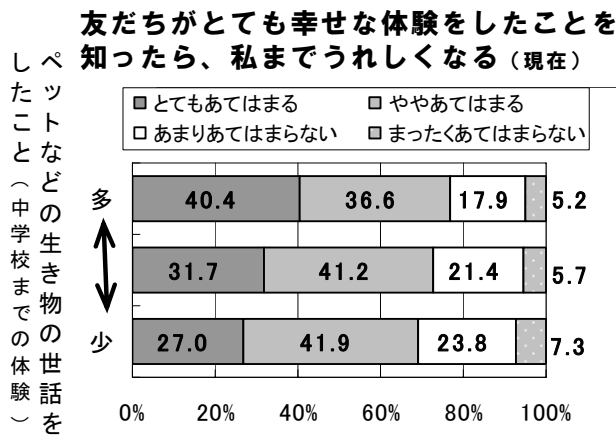


図 4-3-①-8

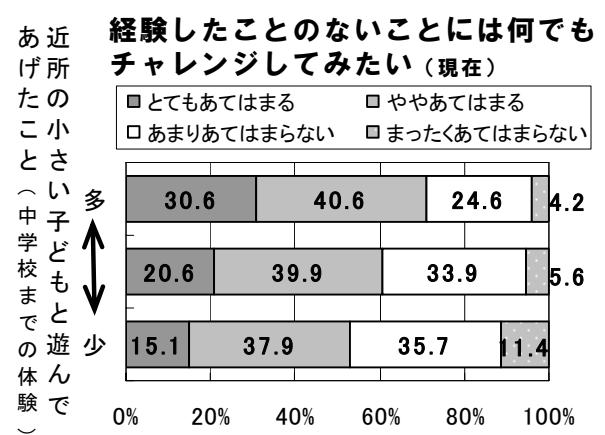


図 4-3-①-16

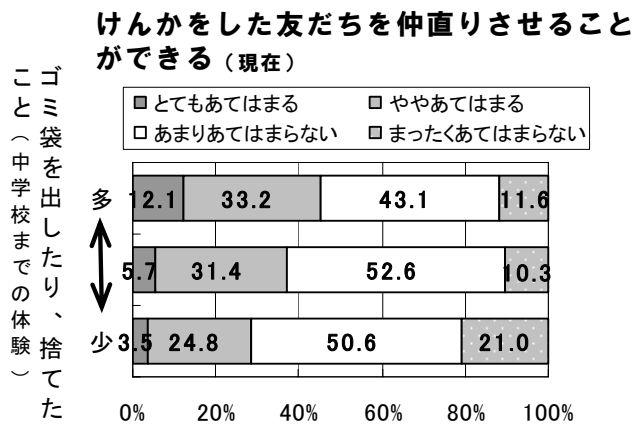


図 4-3-①-33

#### 【共生感】

- ・休みの日は自然の中で過ごすことが好きである
- ・動物園や水族館などに行くのが好きである
- ・悲しい体験をした人の話を聞くとつらくなる
- ・友だちがとても幸せな体験をしたことを知ったら、私までうれしくなる
- ・人から無視されている人のことが心配になる

#### 【意欲・関心】

- ・もっと深く学んでみたいことがある
- ・なんでも最後までやり遂げたい
- ・経験したことの無いことには何でもチャレンジしてみたい
- ・分からないことはそのままにしないで調べたい
- ・いろいろな国に行ってみたい

#### 【人間関係能力】

- ・人前でも緊張せずに自己紹介ができる
- ・けんかをした友だちを仲直りさせることができる
- ・近所の人に挨拶ができる
- ・初めて会った人とでもすぐに話ができる
- ・友だちに相談されることがよくある

◇ 小学校低学年までは友だちや動植物とのかかわり、  
小学校高学年から中学生までは地域や家族とのかかわりが大切。

【青少年調査(高2結果)】

高校2年生の結果を用い、子どもの頃の体験と「体験の力」の関係を分析(重回帰分析)したところ、小学校低学年までは「友だちとの遊び」「動植物とのかかわり」等の体験が、「体験の力」とより関係している。そして、小学校高学年から中学生までは「地域活動」「家族行事」「家事手伝い」「自然体験」等の体験が「体験の力」とより関係している。なお、この結果は、成人調査と類似している(p.15)。

表 4-3-②. 年齢期別「体験の力」との関係が見られる体験

体験の力	年 齢 期			
	小学校に通う前	小学校低学年	小学校高学年	中学校
自尊感情		友だちとの遊び	家事手伝い	地域活動 家族行事
共生感		友だちとの遊び 動植物とのかかわり 地域活動		自然体験 地域活動 家族行事 家事手伝い
意欲・関心		友だちとの遊び 動植物とのかかわり		地域活動 家事手伝い
規範意識	友だちとの遊び 家族行事	友だちとの遊び 動植物とのかかわり	家事手伝い	自然体験 地域活動 家族行事
職業意識			動植物とのかかわり	自然体験 地域活動 家族行事
人間関係能力		友だちとの遊び		自然体験 友だちとの遊び 地域活動 家族行事
文化的作法・教養		家族行事	動植物とのかかわり	地域活動 家族行事 家事手伝い

◇ 関係が見られる各年齢期における体験と「体験の力」の関係についてのクロス集計結果の例

[小学校に通う前]

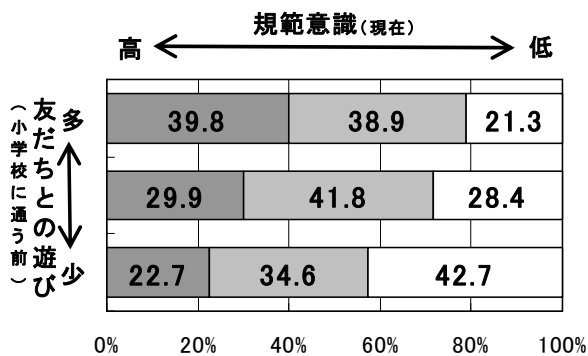


図 4-3-②-1 小学校に通う前の「友だちとの遊び」と「規範意識」の関係

[小学校高学年]

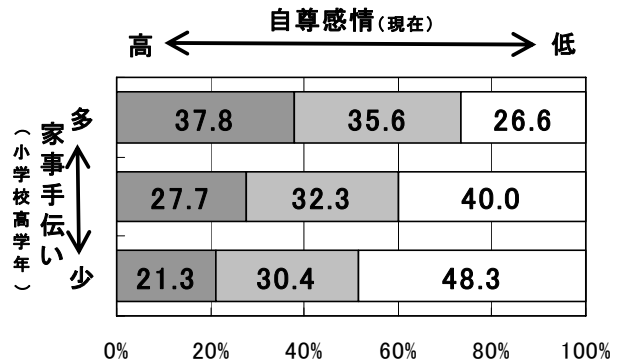


図 4-3-②-13 小学校高学年の「家事手伝い」と「自尊感情」の関係

◇体験が豊富な子どもほど、携帯電話を持っている・読む本の冊数が多い、という割合が高い。また、コンピューターゲームやテレビゲーム遊びをしない、という割合が高い。

【青少年調査】

クロス集計の結果、幼少期から現在までの体験が豊富な子どもほど、携帯電話を所持する割合が高く、1ヶ月に読む本の冊数が多くなる傾向がみられる。

携帯電話を持っている子どもの割合

〔小学校 5 年生〕

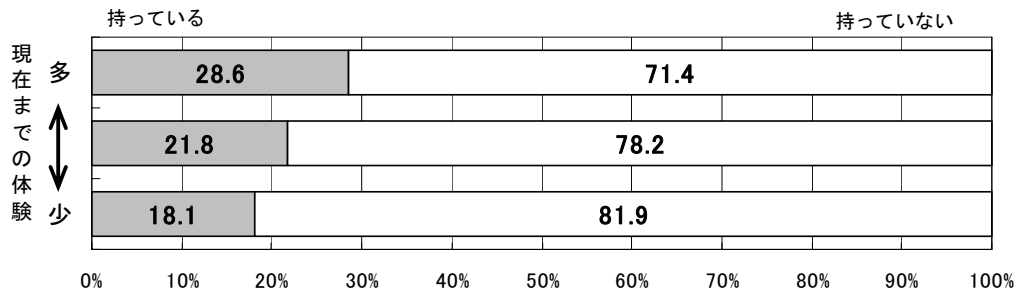


図 4-5-①-1

〔小学校 6 年生〕

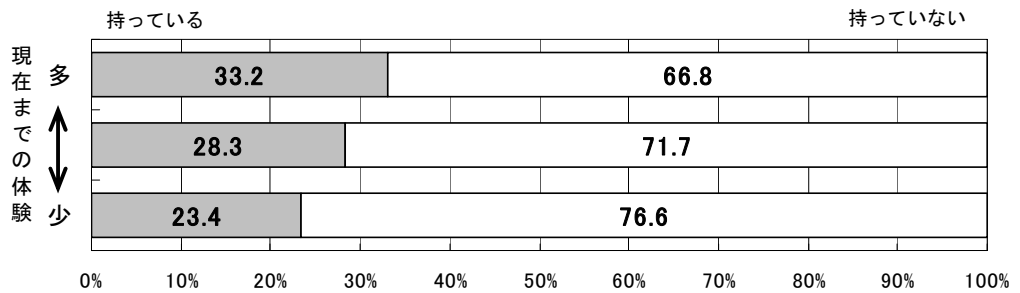


図 4-5-①-2

〔中学 2 年生〕

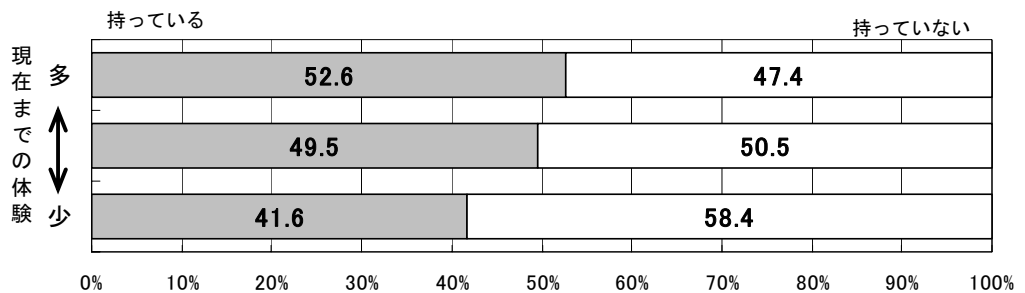


図 4-5-①-3

〔高校 2 年生〕

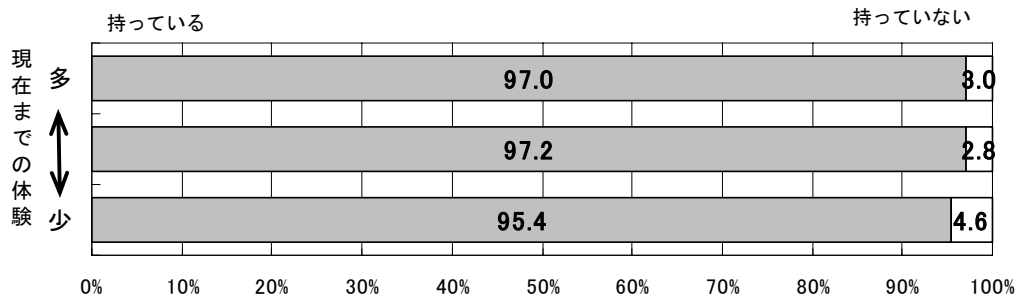


図 4-5-①-4

1ヶ月に読む本の冊数

〔小学校5年生〕

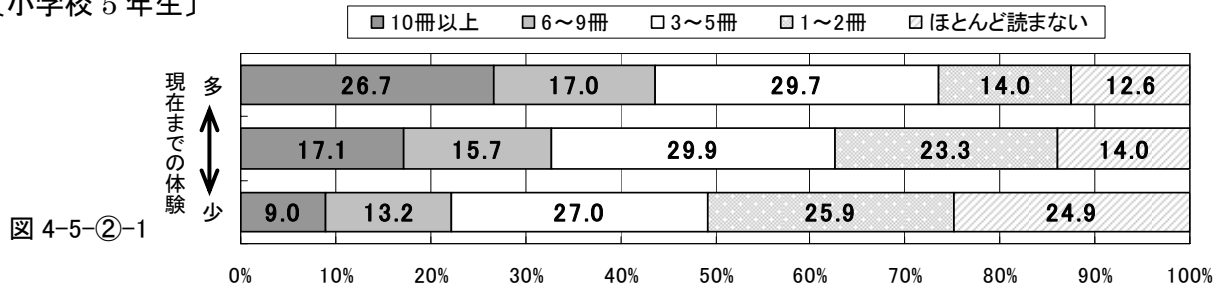


図 4-5-②-1

〔小学校6年生〕

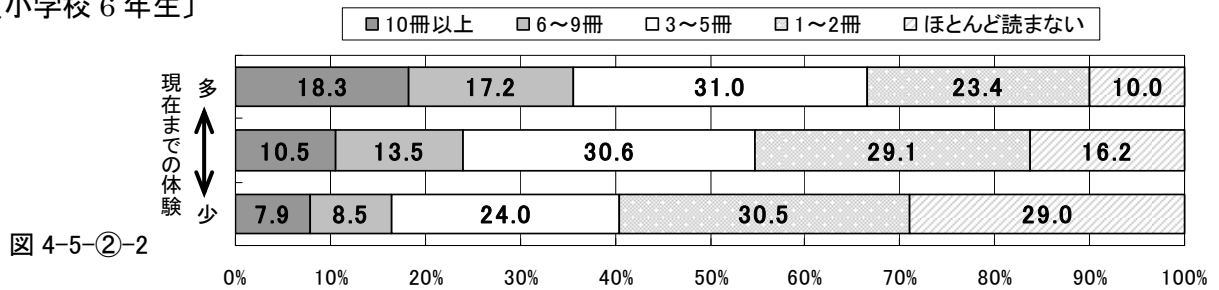


図 4-5-②-2

〔中学2年生〕

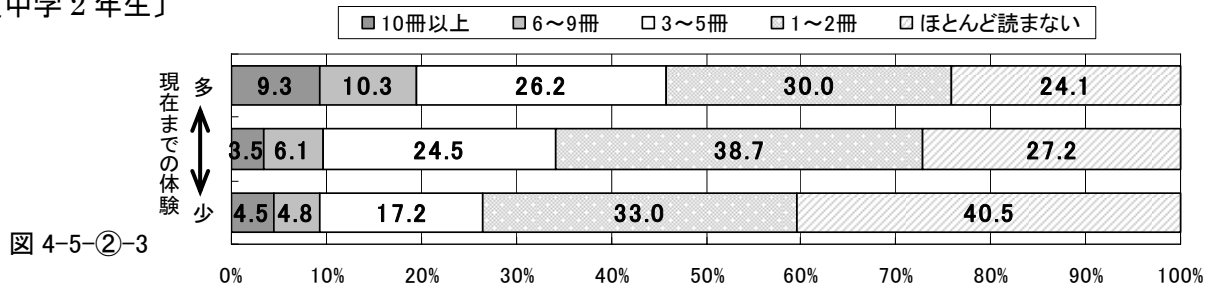


図 4-5-②-3

〔高校2年生〕

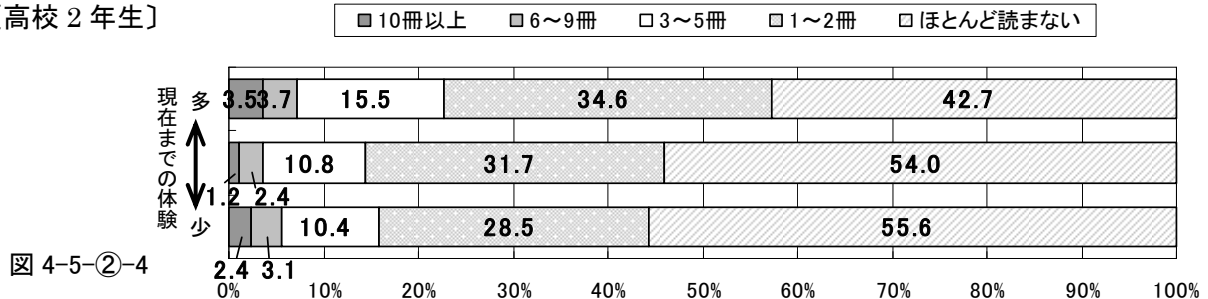


図 4-5-②-4

クロス集計の結果、幼少期から現在までの体験が豊富な子どもほど、コンピューターやテレビゲーム等のゲーム遊びの頻度が少ないという傾向がみられる。

コンピューターゲームやテレビゲーム遊びの頻度

〔小学校 5 年生〕

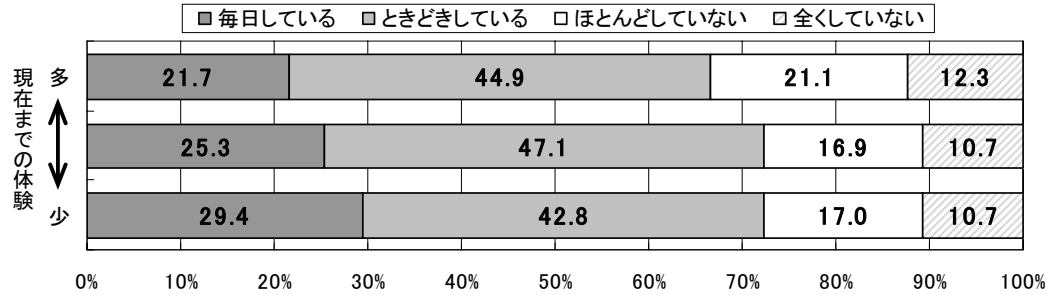


図 4-5-③-1

〔小学校 6 年生〕

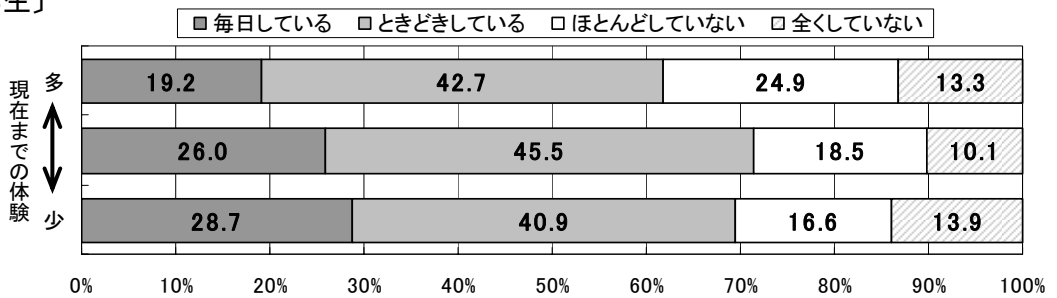


図 4-5-③-2

〔中学 2 年生〕

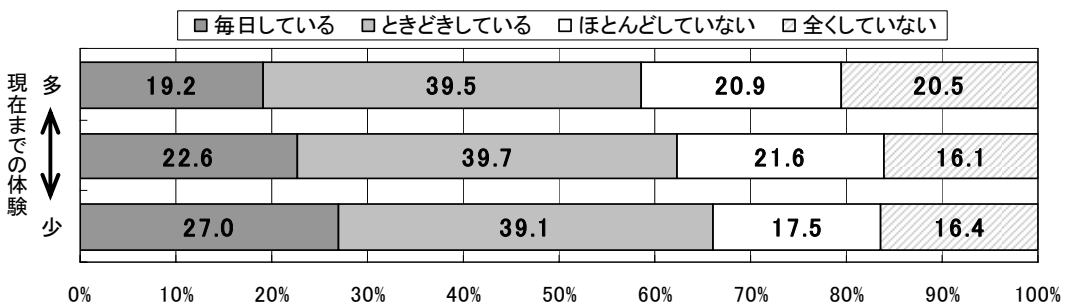


図 4-5-③-3

〔高校 2 年生〕

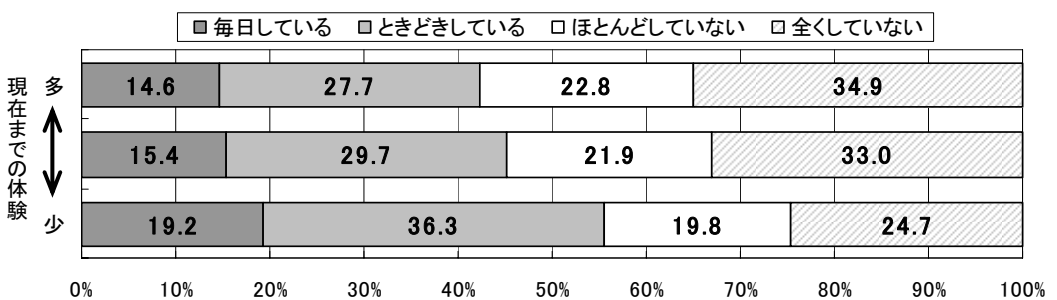


図 4-5-③-4

- ◇ 幼少期から小学生期までの「自然体験」、「動植物とのかかわり」、「友だちとの遊び」は、高校生より中学生の方が少ない。
- ◇ 幼少期から小学生期までの「家族行事」は高校生より中学生の方が多い。

【青少年調査(中2・高2結果)】

「海や川で貝を採ったり魚を釣ったりしたこと」といった「自然体験」、「野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと」といった「動植物とのかかわり」、「かくれんぼや缶けりをしたこと」といった「友だちとの遊び」は、中学2年生の方が、高校2年生よりも小学生までに体験している割合が減っている。一方、「家族の誕生日を祝ったこと」といった「家族行事」は中学2年生の方が、高校2年生よりも小学生までに体験している割合が増えている。

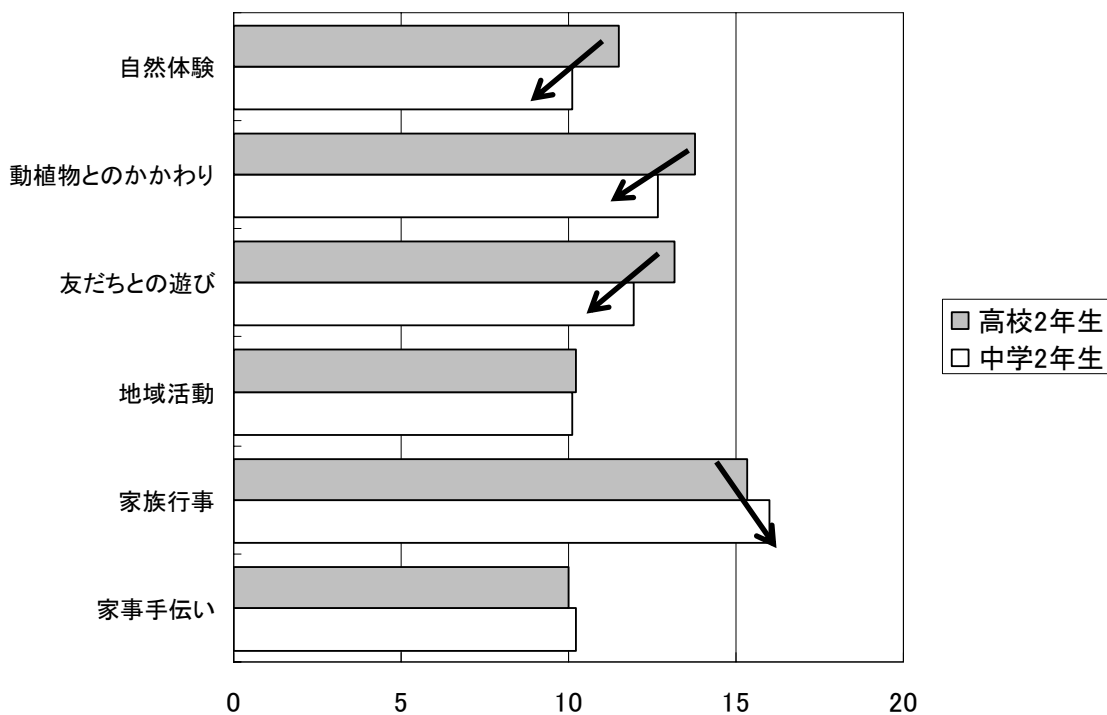


図 4-1 幼少期から小学生期までの体験の各カテゴリ別合計得点の平均[0-40 点]

- |   |  |
|---|--|
| <p>【「自然体験」に関する 5 項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海や川で貝を採ったり魚を釣ったりしたこと</li> <li>・海や川で泳いだこと</li> <li>・太陽が昇るところや沈むところを見たこと</li> <li>・夜空いっぱい輝く星をじっくり見たこと</li> <li>・湧き水や川の水を飲んだこと</li> </ul>     | <p>【「動植物とのかかわり」に関する 5 項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米や野菜などを栽培したこと</li> <li>・花を育てたこと</li> <li>・ペットなどの生き物を世話したこと</li> <li>・チョウやトンボ、バッタなどの昆虫を捕まえたこと</li> <li>・野鳥を見たり、鳴く声を聞いたこと</li> </ul> |
| <p>【「友だちとの遊び」に関する項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かくれんぼや缶けりをしたこと</li> <li>・ままごとやヒーローごっこをしたこと</li> <li>・すもうやおしくらまんじゅうをしたこと</li> <li>・友人とケンカしたこと</li> <li>・弱い者いじめやケンカを注意したり、やめさせたこと</li> </ul> | <p>【「家族行事」に関する 5 項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の誕生日を祝ったこと</li> <li>・お墓参りしたこと</li> <li>・家族の病気の看病をしたこと</li> <li>・親戚、友人の家にひとりで宿泊したこと</li> <li>・実家で家の大掃除をしたこと</li> </ul>                 |

◇ 子どもの頃の体験が豊富な大人ほど、やる気や生きがいを持っている人が多く、モラルや人間関係能力が高い人が多い。

【成人調査】

クロス集計の結果、子どもの頃の「自然体験」や「友だちとの遊び」、「地域活動」等の体験が豊富な人ほど、「経験したことのないことには何でもチャレンジしてみたい」といった「意欲・関心」や、「電車やバスに乗ったときお年寄りや身体の不自由な人には席をゆずろうと思う」といった「規範意識」、「友だちに相談されることがよくある」といった「人間関係能力」が高い。

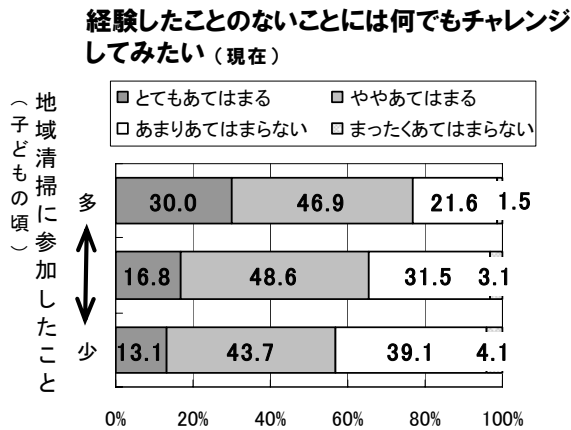


図 3-3-①-21

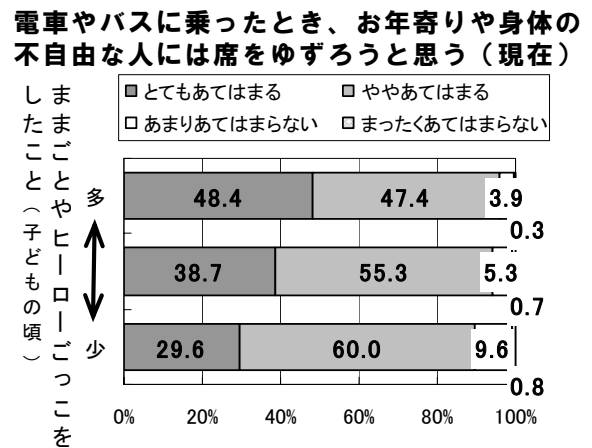


図 3-3-①-18

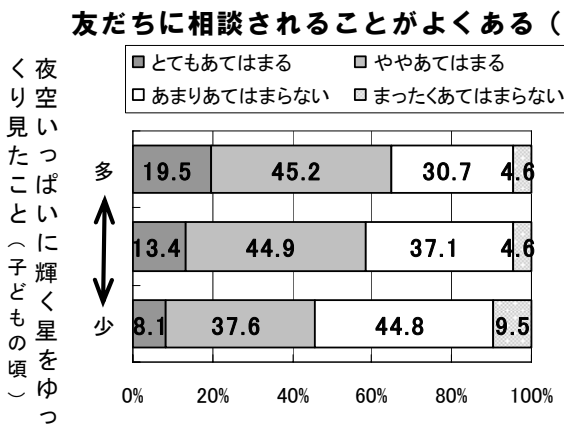


図 3-3-①-2

[意欲・関心]

- ・もっと深く学んでみたいことがある
- ・なんでも最後までやり遂げたい
- ・経験したことのないことには何でもチャレンジしてみたい
- ・分からないことはそのままにしないで調べたい
- ・いろいろな国に行ってみたい

[規範意識]

- ・叱るべき時はちゃんと叱れる親が良いと思う
- ・交通規則など社会のルールは守るべきだと思う
- ・電車やバスの中で化粧や整髪をしても良いと思う
- ・電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人には席をゆずろうと思う
- ・他人をいじめている人がいると、腹が立つ

[人間関係能力]

- ・人前でも緊張せずに自己紹介ができる
- ・けんかをした友達を仲直りさせることができる
- ・近所の人に挨拶ができる
- ・初めて会った人とでもすぐに話ができる
- ・友だちに相談されることがよくある





◇ 子どもの頃の体験が豊富な大人ほど、「丁寧な言葉を使うことができる」といった、日本文化としての作法・教養が高い。

【成人調査】

子どもの頃の体験が豊富な大人ほど、「丁寧な言葉を使うことができる」といった「文化的作法・教養」が高い。そして、「文化的作法・教養」5項目は、体験の6つの各カテゴリすべてと幅広く関係している

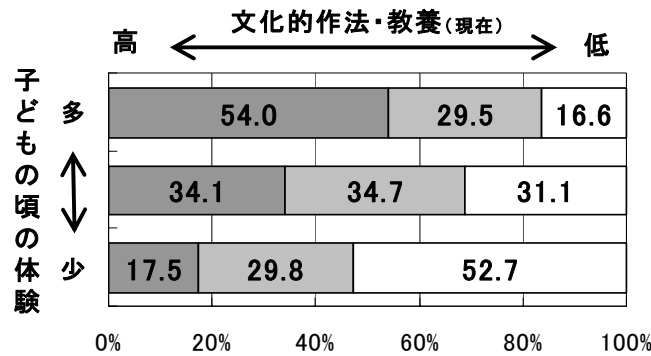


図 3-6-1. 子どもの頃の体験の多寡と「文化的作法・教養」との関係

表 3-6-1. 子どもの頃の体験と「体験の力」のカテゴリ間の関係(相関係数)

	自然体験	動植物とのかかわり	友だちとの遊び	地域活動	家族行事	家事・手伝い
自尊感情	.247**	.218**	.252**	.269**	.265**	.185**
共生感	.292**	.321**	.320**	.324**	.316**	.288**
意欲・関心	.274**	.273**	.299**	.315**	.299**	.296**
規範意識	.175**	.166**	.243**	.190**	.254**	.208**
人間関係能力	.285**	.271**	.333**	.366**	.321**	.304**
職業意識	.185**	.187**	.232**	.229**	.232**	.215**
文化的作法・教養	.304**	.314**	.332**	.346**	.377**	.329**

\*\*p<.01

「文化的作法・教養」のカテゴリのみ、子どもの頃の体験のカテゴリそれぞれとの相関係数がすべて0.3以上を示す。

表 3-6-2. 子どもの頃の体験と「体験の力」のカテゴリ間の関係(相関係数上位の頻度)

	自然体験	動植物とのかかわり	友だちとの遊び	地域活動	家事手伝い	家族行事
自尊感情	4	0	8	8	2	3
共生感	4	6	5	2	4	4
意欲・関心	1	1	6	6	9	3
規範意識	0	1	8	2	6	8
人間関係能力	1	0	7	9	6	2
職業意識	0	0	7	4	9	5
文化的作法・教養	2	2	3	6	8	4

「文化的作法・教養」の5項目と相関係数の高い子どもの頃の体験の項目の頻度をカテゴリで数えてみると、「文化的作法・教養」を構成する項目と関係がある子どもの頃の体験の項目は6つすべてのカテゴリから2項目以上数えることができる。これは「共生感」も類似した結果が出ているが、その他のカテゴリについては、偏りがみられる。

◇ 子どもの頃の体験が豊富な大人ほど、学歴が高い・収入が多い・読む本の冊数が多い・結婚している・子どもの数が多い、という割合が高い。

【成人調査】

クロス集計の結果、子どもの頃の体験が豊富な大人ほど、最終学歴が「大学や大学院」と回答した割合が高く、その他、現在の年収が高かったり、1ヶ月に読む本の冊数が多くなる傾向がみられる。

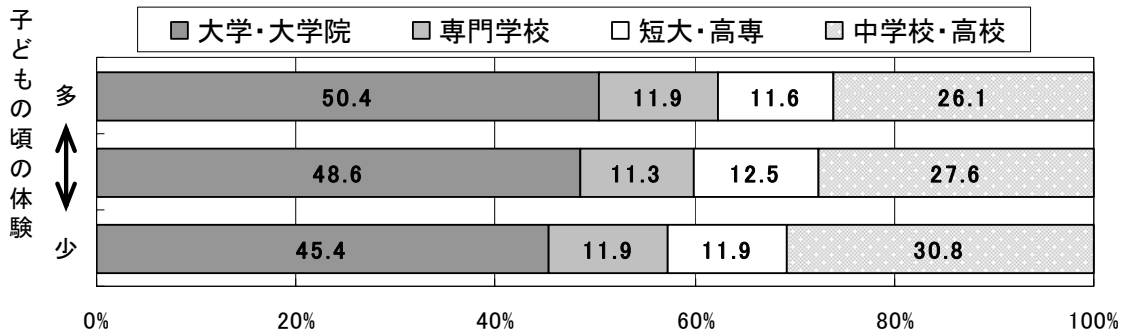
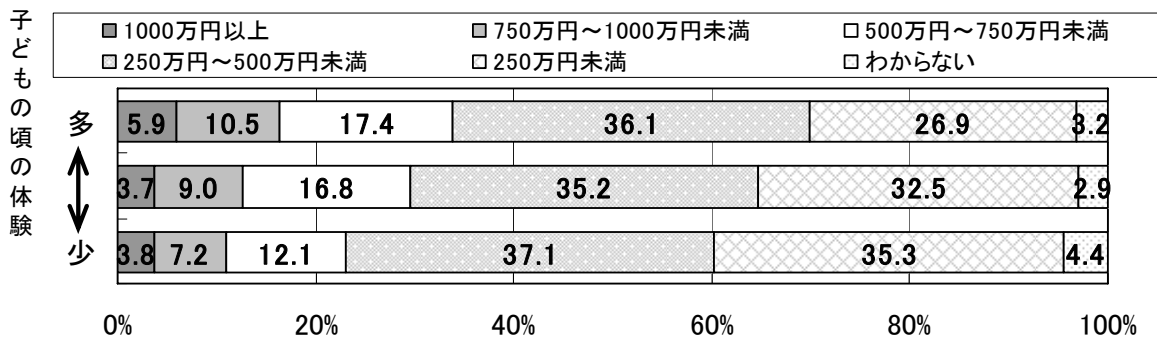


図 3-5-1. 子どもの頃の体験の多寡と「最終学歴」との関係



就業者(3,527人)のみ

図 3-5-2. 子どもの頃の体験の多寡と「現在の年収」との関係

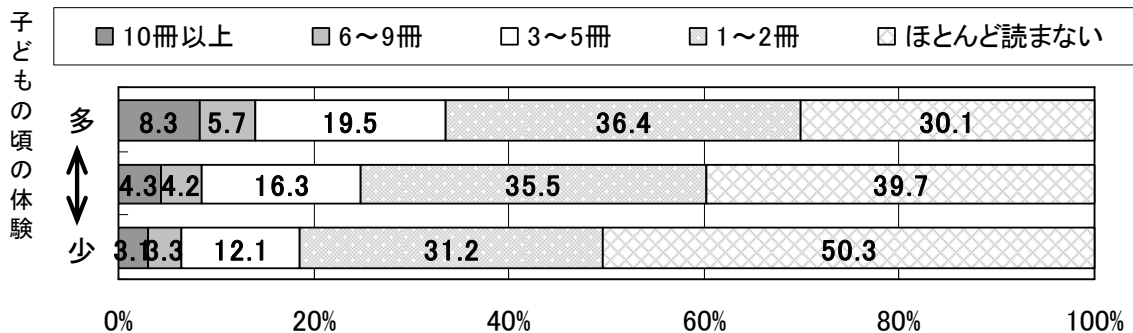


図 3-5-3. 子どもの頃の体験の多寡と「1ヶ月に読む本の冊数」との関係

【成人調査】

クロス集計の結果、子どもの頃の体験が少ない群より多い群の方が、結婚している割合が高い。さらに、子どもが2人以上いると回答した割合が高い。

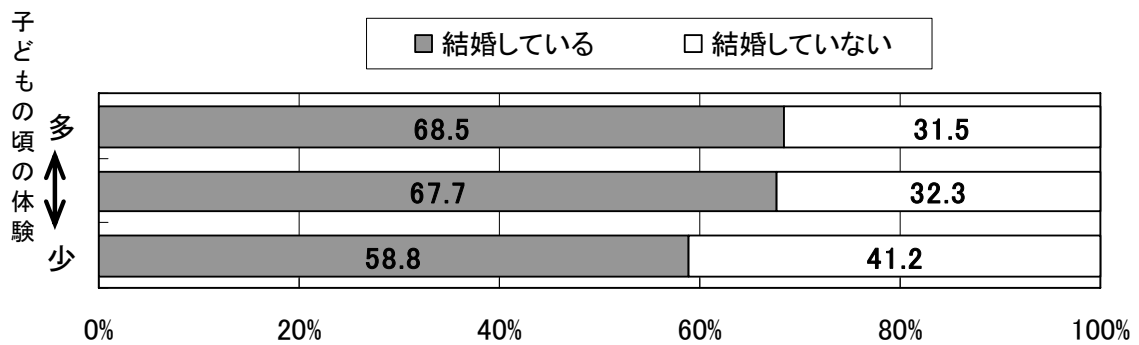


図 3-5-4. 子どもの頃の体験の多寡と「結婚の有無」との関係

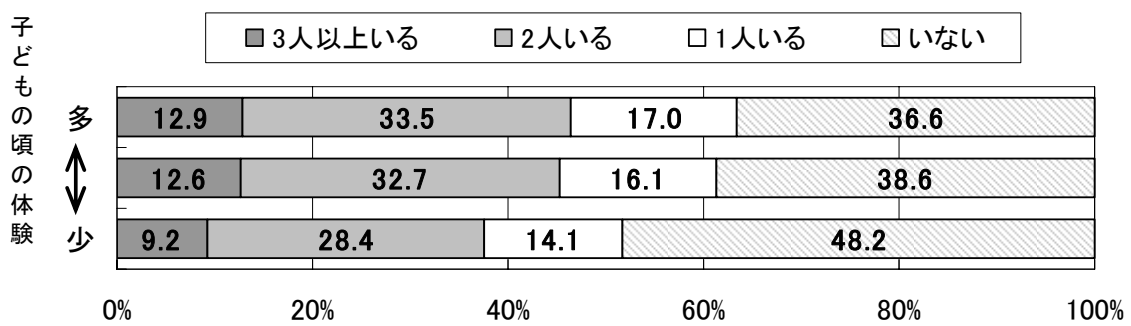


図 3-5-5. 子どもの頃の体験の多寡と「子どもの数」との関係

- ◇ 自然体験や友だちと遊ぶ機会が若い世代ほど少ない。
- ◇ 幼少期の家族行事の機会が若い世代ほど増えている。

【成人調査】

「夜空いっぱいに輝く星をゆっくり見たこと」といった「自然体験」, 「弱い者いじめやケンカを注意したり, やめさせたこと」といった「友だちとの遊び」が若い世代ほど少ない。一方, 幼少期での「家族の誕生日を祝ったこと」といった「家族行事」は若い世代ほど増えている。

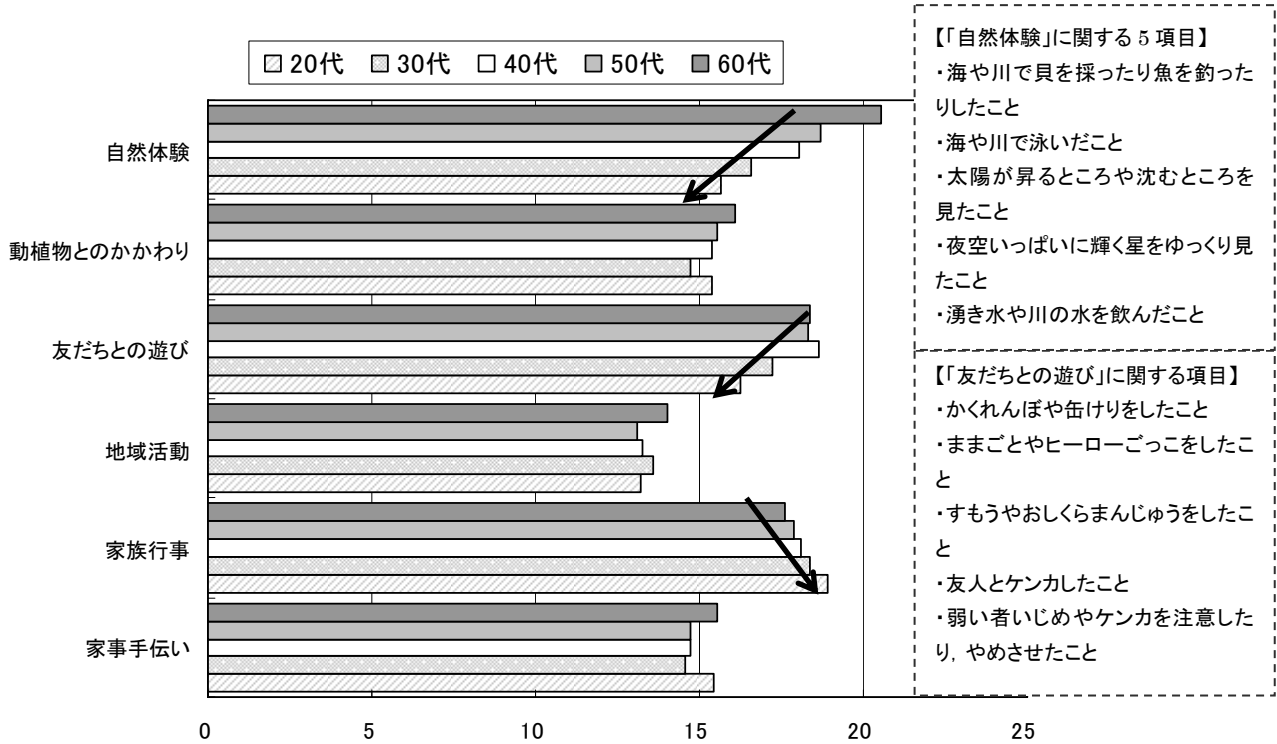


図 3-1 子どもの頃の体験の各カテゴリ別合計得点の平均[0-40 点]

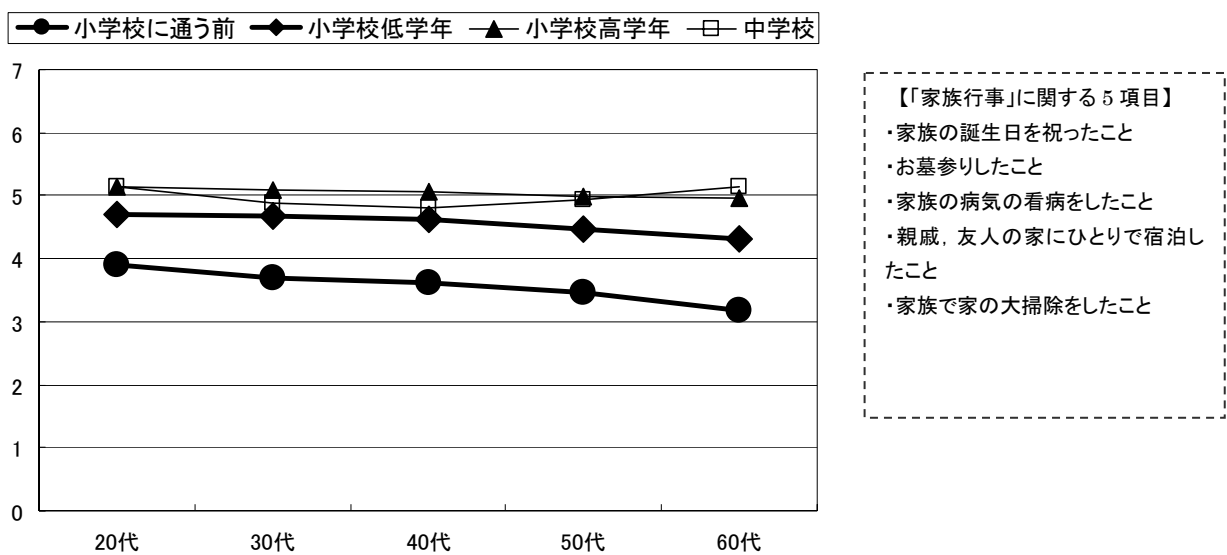


図 3-1-⑤ 「家族行事」各年齢期総得点の平均[0-10 点]

◇「規範意識」、「人間関係能力」、「職業意識」、「文化的作法・教養」は、世代が上がるほど高まる。

【成人調査】

「お年寄りや身体の不自由な人には席をゆずろうと思う」といった「規範意識」、「友達に相談されることがよくある」といった「人間関係能力」、「できれば、社会や人のためになる仕事をしたいと思う」といった「職業意識」等の「体験の力」は、年代が上がるほど、得点が高くなる傾向がみられる。

「体験の力」カテゴリ:「自尊感情」、「共生感」、「意欲・関心」、「規範意識」、「人間関係能力」、「職業意識」、「文化的作法・教養」

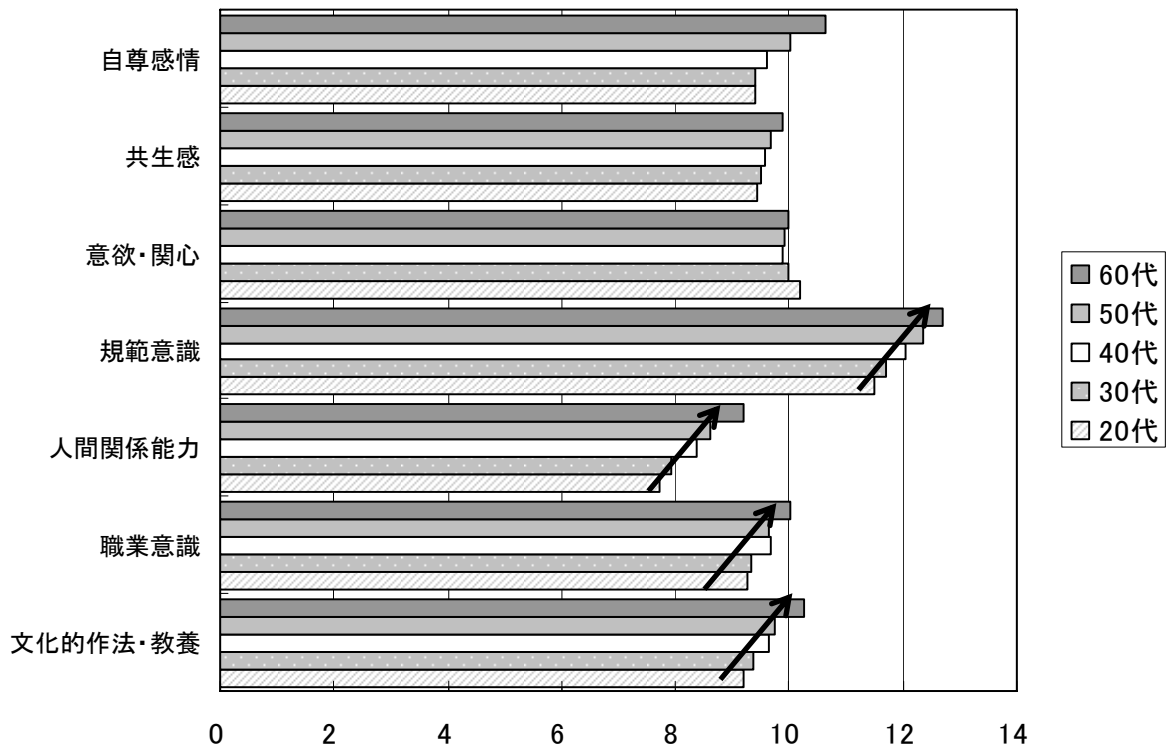


図 3-2 「子どもの頃の体験」年代別総得点の平均[0-15点]

<p>【規範意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・叱るべき時はちゃんと叱れる親が良いと思う</li> <li>・交通規則など社会のルールは守るべきだと思う</li> <li>・電車やバスの中で化粧や整髪をしても良いと思う</li> <li>・電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人には席をゆずろうと思う</li> <li>・他人をいじめている人がいると、腹が立つ</li> </ul>	<p>【人間関係能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人前でも緊張せずに自己紹介ができる</li> <li>・けんかをした友だちを仲直りさせることができる</li> <li>・近所の人に挨拶ができる</li> <li>・初めて会った人とでもすぐに話ができる</li> <li>・友だちに相談されることがよくある</li> </ul>
<p>【職業意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にはなりたい職業や、やってみたい仕事がある</li> <li>・大人になったら仕事をするべきだと思う</li> <li>・できれば、社会や人のためになる仕事をしたいと思う</li> <li>・お金が十分にあれば、できれば仕事はやりたくないと思う</li> <li>・今が楽しければ、それでいいと思う</li> </ul>	<p>【文化的作法・教養】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お盆やお彼岸にはお墓参りに行くべきだと思う</li> <li>・目上や年下の人と話すときは丁寧な言葉を使うことができる</li> <li>・ひな祭りや子どもの日、七夕、お月見などの年中行事が楽しみだ</li> <li>・はしを上手く使うことができる</li> <li>・日本の昔話を話することができる</li> </ul>